

納得 できない! 桜町再開発・大型ハコモノに「300億円」の税金投入

苦しい市民の生活をよそに、こんなムダ使いが許されるでしょうか。

今年5月には、熊本市内で「日本糖尿病学会」の年次総会が1万2千人規模で行われます。ホテル日航をメイン会場に、周辺のホテルや市民会館などが利用されます。300億円もかけて、MICE施設を新たに整備するよりも、既存施設を利用し、コンベンション誘致に取り組むべきです。



**コンベンション誘致は、
既存施設の活用を!**

熊本市は、大手ゼネコンが受注する桜町再開発に参加して大会議場を整備するため、床の取得費用だけで2百数十億円と、高い整備費です。桜町再開発への補助金も含めれば約300億円です。お手本にしている福岡国際会議場100億円の3倍です。床面積14万㎡のうち、2・9万㎡(約2割)しか取得しないのに、総事業費500億円の半分以上の負担になります。

**「再開発」は
高い取得費が必要**

「再開発」への参加で、整備費は福岡国際会議場の3倍に

花畑地区では、産業文化会館を取り壊し、隣接した民有地を15億円かけて買収し、新たな「広場」を20億円かけて整備しようとしています。この広場(2900㎡)は、辛島公園(3436㎡)よりも狭く、利用見通しもはっきりしていません。しかも、当面は、

交通センター改修時の「仮バスターミナル」として利用する方向です。20億円もの税金を使い、必要性のない「広場」を整備するより、辛島公園を改修して有効に活用すべきです。また、仮バスターミナルは、交通センターの責任で確保すべきです。



仮バスターミナルの「広場」整備に20億円のムダ使い



産業文化会館

**もったいない
産業文化会館の取り壊し4億7000万円**

耐用年数を50〜70年も残しています

産業文化会館の取り壊しには4億7000万円もかかるので改修して利用すべきです。

建築学会の基準では、標準的な鉄筋コンクリート構造物の場合、供用限界期間を100年としています。産業文化会館は、建設して32年、改修すればあと70年は使えます。建設して46年の市民会館は、長期保全・修繕計画をつくり、今後も使います。

**中心街に文化芸術に
適した中規模ホールが必要**

産業文化会館(大ホール700席)は、中心市街地にある固定席の芸術文化に使うためにつくられた中規模ホールです。市民の財産として利用すべきです。邦楽・民謡・演劇など、多方面から産文の再開に賛同が寄せられています。「産業文化会館の再開を求める署名」は、7000筆を超えています。

日本共産党は提案します!

公共事業は、地元発注の維持補修・改修へ転換を

人口減少・低成長の時代に合った、既存建築物の維持管理・長寿命化こそ必要です。市営住宅の計画修繕経費や小中学校の大規模改修・プール・体育館建設などを拡充すべきです。

景気効果抜群の「住宅リフォーム助成制度」の創設を!

全国に広まり、少ない予算で大きな景気効果の「住宅リフォーム助成制度」を早期に実施すべきです。鹿児島市では、年間3億円の事業費で実施されています。

日本共産党
熊本市議団 市議会だより

発行: 日本共産党熊本市議団 熊本市中央区手取本町1-1 TEL: 328-2656 FAX: 359-5047
メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp HP: http://www.jcp-kumamoto.com/



ますだ牧子



上野みえこ



なすまどか

大型ハコモノ建設を中止すれば暮らし・福祉の充実が可能です

◆子育て・教育支援◆

近隣で最低レベルの子どもの医療費助成 中学3年まで拡充を

熊本市の子ども医療費情勢は、小学3年まで。県下で最低水準となっています。近隣市町村のなかで、就学前の子どもに対して自己負担を求めているのは熊本市のみです。対象年齢を中学3年まで拡充し、自己負担分をなくすなど子育て支援を充実すべきです。

中学3年まで無料

菊陽町、益城町、嘉島町、甲佐町

小学6年まで無料

合志市、大津町、西原村



◆福祉・健康を支える支援◆

特定健診の無料化で健康増進を

九州の政令市・中核市のなかで、特定健診の自己負担があるのは、福岡市（500円）と熊本市（1000円：非課税世帯は無料）のみです。無料化に必要な予算は3600万円（受診率40%の場合）。宇土市では、受診料を無料にし、受診率が40%を超え、市民の健康増進につながっています。

重度障がい者への医療費助成～窓口での負担ゼロを

重度障がい者への医療費助成制度では、2万1000円を超えた場合、窓口で一度医療費を負担し、その後償還されます。手続きの手間や重い負担に苦しむ障がい者も少なくありません。政令市20市中15市で実施しているように窓口での負担をなくすよう現物給付にするべきです。



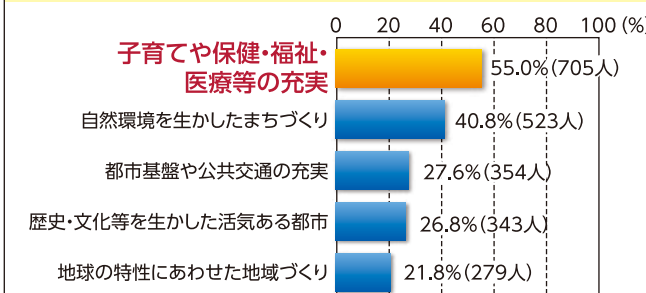
TPP交渉参加 撤回を！ 消費税増税中止を！

市民から寄せられた消費税増税中止やTPPへの参加中止を求める請願に対して、賛成討論を行うなど採択を求めてきました。

○：賛成 ●：反対	共産党	自民党	くまもと未来	市民連合	公明党	自由ク	日本教育
消費税増税の中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●
TPPへの交渉参加の撤回を求める請願	○	●	●	●	●	●	●

市民の願いは「教育」「子育て」「福祉」の充実

問 熊本市が政令指定都市となった場合に、どのような都市の姿を期待しますか。（複数回答）



「日本一暮らしやすい熊本」をスローガンに掲げる幸山市政。しかし、市民からは、「暮らしやすさ」がなかなか実感できないとの思いも寄せられています。これまでも、はり灸マッサージ助成回数削減、敬老祝い品の削減など、福祉・住民サービスの削減が行われてきました。「ハコモノに使うお金があるのならば、福祉の充実、子育て・教育に使ってほしい」——この思いは市民共通の願いではないでしょうか？

遅れている熊本市の暮らし・福祉への支援

～鹿児島市との比較～

制度の種類	熊本市	鹿児島市
子どもの医療費助成	小学3年まで (年齢により1科につき月500円自己負担)	小学6年まで (今年8月から拡大) (3歳以上は月2000円自己負担)
特定健診自己負担	1000円 (非課税・生保のみ無料)	無料
はり灸マッサージ	1000円を30回まで助成(60回を30回に削減)	1100円を60回まで助成
高齢者へのおむつ支給 住民税非課税 (熊本市：介護保険で対応 鹿児島市：高齢者福祉で対応)	条件：介護4、5 対象者：165人 (2011年度)	介護4、5 (年10万円の現物を2ヶ月分ずつ自宅まで配達) 介護3以下 (年5万円//) 入院 (月4000円現金) 対象者：6771人 (2011年度)
介護手当	年6万円 (城南町のみ：合併後5年間で終了)	年9万円
敬老祝い事業	満80歳 祝品：1000円 満88歳 祝品：2700円 満100歳 祝品：2万7千円 101歳以上 祝品：2700円	満88歳 祝金：3万円 満100歳 祝金：10万円 100歳以上 市内で最高齢の男女各1名に祝金：20万円
小中学校への冷暖房設置	図書館・保健室など	すべての普通教室に設置予定
住宅リフォーム助成	なし	3億円の予算で51億円の経済波及効果
さくらカード受給の障がい者への負担	1割	無料
太陽光発電設置への補助	1件あたり4万円を予定 (2013年度当初予算：4780万円)	個人住宅：1件あたり最大9万円 共同住宅：1件あたり最大30万円 (2013年度当初予算：1億5000万円)